

園芸市場情報

平成27年6月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407 FAX：03-5492-5407

6月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年並、相場は前年を上回るか！

果実類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年並か！

花きは、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

やっちゃば閑話 「市場に来て感じたこと」 P7

首都圏掲示板 P8

<今月の3枚>

千葉県産すいかの試食宣伝会が開催されました！

5月29日、全農千葉県本部の主催により、大田市場内東京青果（株）セリ場において、これから出荷のピークを迎える千葉県産すいかの試食宣伝会が開催されました。会場は大勢の来場者で賑わい、試食の評価も上々で、早速販売担当者と商談を進める姿も見受けられました。



CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 5月（中旬まで）の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 04 6月の見通し
 05 品目別生産出荷概況
 特集「大玉すいか」

II 花き情報

- 06 5月の経過（販売経過、入荷量と単価の経過、品目別経過）
 6月の見通し（ヒマワリ、トルコギキョウ）

III やっちゃんば閑話

- 07 「市場に来て感じたこと」

IV 首都圏掲示板

- 08 「実需者に向けて千葉の一押し品目を売り込みました！」
 「岡山県知事がマスカット・オブ・アレキサンドリアをPR」
 「小売業者との関係強化で、ヒマワリの販売促進を！」
 「今年の母の日の状況は？」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 5月（中旬）までの経過

野菜類

気 象	5月上中旬の気象データでは平年に比べ、平均気温は全国的に高くなり、特に関東以東の東日本の太平洋側で高くなった。降水量は、関東・東北で少なく、九州・北海道でやや多くなった。日照時間は、近畿以東では多く、特に北関東の太平洋側で多かったが、九州・中国・四国ではやや少なかった。
入荷量	東京都中央卸売市場への入荷野菜は、関東産が中心となった。 4月上旬の高温から一転して、4月中旬からの低温・日照不足により、生育が大きく遅れた。このため、「だいこん」「にんじん」「キャベツ類」「ねぎ」等、多くの品目で4月下旬から5月上旬が端境期となった。 結果として、入荷量は5月上中旬で83,817 t（前年比95.8%）と前年をやや下回った。
相 場	天候不順による不安定な出荷により、品薄感は払しょくされず、引き続き高値基調となった。 「キャベツ類」等の前年の倍の価格となった品目を始めとして、ほとんどの品目で前年より高値となった。 結果として、価格は5月上中旬計で283円/kg（前年比120.5%）と前年より大幅な高値となった。

果実類

入荷量	「かんきつ類」「りんご類」「メロン類」「すいか類」「いちご類」を中心に出回った。 入荷量は、生育が遅れているハウスみかんなど「みかん類」、交配期の天候不順の影響を受けた「メロン類」、「すいか類」など多くの品目で前年より少なかった。 結果として、入荷量は5月上中旬計で、17,214 t（前年比92.9%）と前年よりかなり少なくなった。
相 場	入荷量が少なく引き合いが全体的に強まり、ほとんどの品目で前年を上回った。特に、例年にない好天・高温が続き「すいか類」「メロン類」の需要が高まり、前年を大幅に上回った。 結果として、価格は5月上中旬計で443円/kg（前年比109.9%）と前年よりもかなり高値となった。

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成27年4月下旬～5月上中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	4月下旬				5月上旬				5月中旬				5月上中旬計			
		開市日数 本年7日・前年7日		開市日数 本年6日・前年7日		開市日数 本年8日・前年7日		開市日数 本年14日・前年14日		開市日数 本年8日・前年7日		開市日数 本年14日・前年14日		開市日数 本年14日・前年14日			
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	—	43,660	88.1	295	128.8	39,027	86.1	291	124.3	44,790	106.3	276	117.1	83,817	95.8	283	120.5
だいこん	市場計	3,510	79.9	125	139.2	3,129	83.8	136	185.4	3,123	95.1	107	130.0	6,252	89.1	122	156.7
	千葉	2,751	78.1	127	139.2	2,493	82.7	137	185.8	2,362	88.5	106	131.5	4,855	85.4	122	158.4
にんじん	市場計	3,000	90.3	149	121.5	2,341	95.9	138	110.7	2,765	97.8	145	117.4	5,105	96.9	142	114.3
	千葉	96	220.5	118	91.5	69	115.0	123	74.9	338	85.0	173	110.4	407	89.0	165	104.3
はくさい	市場計	1,758	73.5	145	303.3	1,655	79.0	151	314.8	1,591	95.4	173	357.0	3,246	86.3	162	335.9
キャベツ類	市場計	6,178	86.7	139	151.4	5,069	81.9	170	214.6	5,818	113.5	165	173.2	10,887	96.2	167	193.4
	千葉	995	88.1	129	135.7	1,545	75.8	139	188.0	2,620	123.0	150	169.0	4,166	99.9	146	179.0
ほうれんそう	市場計	406	98.3	604	120.8	424	98.7	467	104.6	536	141.7	466	87.4	959	118.8	466	95.7
	千葉	39	77.9	488	112.1	35	98.1	387	93.0	32	111.6	392	91.1	66	104.1	389	92.2
ねぎ	市場計	1,172	88.0	344	133.3	993	82.3	427	130.7	1,179	103.4	483	142.8	2,172	92.6	457	137.6
	千葉	536	103.8	338	134.3	389	96.8	407	136.7	374	115.6	405	143.7	763	105.1	406	139.7
レタス類	市場計	2,507	105.3	303	142.6	2,532	80.2	242	168.5	2,662	120.3	169	123.4	5,194	96.7	204	145.2
	千葉	34	113.8	287	112.1	37	118.5	249	104.0	36	181.2	227	97.9	72	143.0	238	100.7
きゅうり	市場計	2,680	105.2	316	113.8	2,742	110.3	214	76.4	2,959	112.0	245	88.5	5,702	111.2	230	82.7
	千葉	345	82.7	296	111.8	317	93.0	194	74.3	309	90.8	230	87.1	626	91.9	212	80.7
なす	市場計	753	80.3	462	114.1	887	93.9	385	97.3	990	109.4	413	104.9	1,877	101.5	400	101.3
	千葉	27	120.4	439	113.6	37	144.0	358	97.2	49	145.4	385	110.0	86	144.8	373	104.4
トマト	市場計	2,481	86.2	450	126.0	2,877	89.0	380	116.4	3,041	98.0	336	108.1	5,917	93.4	357	112.1
	千葉	181	97.7	406	126.5	243	93.7	334	117.8	266	89.3	295	110.8	509	91.4	314	114.3
ピーマン	市場計	695	78.7	635	167.9	664	68.4	577	172.3	953	115.2	382	146.7	1,617	89.9	462	153.7
	千葉	2	142.6	813	110.0	2	77.8	748	146.7	4	137.1	462	122.4	5	110.7	551	126.4
さといも	市場計	120	78.9	284	101.6	90	93.5	326	94.4	93	116.0	372	98.4	183	103.7	349	97.0
	千葉	47	122.3	281	86.0	39	98.5	295	78.2	40	153.8	320	79.5	79	120.4	307	79.5
ばれいしょ類	市場計	2,845	73.1	218	153.2	2,522	78.9	205	148.6	3,343	101.1	204	157.9	5,865	90.2	204	153.1
たまねぎ	市場計	4,987	94.1	120	103.9	3,692	89.4	121	94.5	4,433	108.1	123	95.2	8,125	98.7	122	94.9
生しいたけ	市場計	175	94.0	956	107.1	148	86.9	969	107.6	158	108.8	990	105.6	306	96.9	980	106.8
かぼちゃ	市場計	979	115.2	195	88.8	610	74.9	222	92.9	757	108.6	214	84.5	1,367	90.4	218	88.6
さやえんどう	市場計	46	68.5	1,526	131.8	34	58.2	1,405	127.1	54	108.5	982	94.4	88	81.5	1,144	106.4
かんしょ	市場計	622	84.9	234	127.4	481	88.5	261	131.4	504	103.7	268	125.4	985	95.7	264	128.6
	千葉	327	78.4	233	133.6	305	99.5	259	133.2	309	102.5	264	126.9	615	101.0	261	130.0
かぶ	市場計	482	95.2	152	109.6	437	78.2	140	109.3	571	108.4	135	118.5	1,008	92.9	137	113.2
	千葉	384	94.4	156	109.0	355	78.9	141	108.5	445	104.6	130	113.5	799	91.4	135	110.1
ごぼう	市場計	230	105.1	329	74.3	171	87.3	349	81.2	231	101.5	320	80.6	402	95.0	332	80.6
こまつ菜	市場計	372	88.8	383	132.2	353	87.6	272	118.1	479	127.5	229	107.0	832	106.8	248	111.2
	千葉	14	79.0	387	121.9	14	74.0	276	102.6	16	112.6	246	100.4	30	90.6	260	100.5
こねぎ	市場計	135	88.6	881	141.5	124	79.7	1,058	148.9	153	106.3	1,045	142.3	277	92.5	1,051	145.6
わけぎ	市場計	6.9	83.3	838	143.2	6.3	70.9	1,103	161.8	6.8	95.4	927	143.4	13.1	81.8	1,011	151.9
糸みつば	市場計	52	94.7	375	127.1	52	93.4	368	121.0	57	116.3	315	103.9	109	104.0	340	112.1
しゅんぎく	市場計	37	85.7	779	127.9	31	82.6	646	116.1	30	94.4	603	111.9	61	87.9	625	114.0
	千葉	11	78.4	899	135.2	12	98.8	681	110.2	9	95.2	628	101.8	21	97.2	659	106.7
にら	市場計	306	94.9	530	130.2	273	87.2	481	135.9	355	114.0	380	144.8	629	100.6	424	137.5
セルリー	市場計	296	85.0	374	128.4	239	71.7	414	149.4	284	112.3	459	140.5	523	89.2	438	146.9

品目	産地	4月下旬				5月上旬				5月中旬				5月上中旬計			
		開市日数		本年7日・前年7日		開市日数		本年6日・前年7日		開市日数		本年8日・前年7日		開市日数		本年14日・前年14日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	99	98.2	253	100.2	101	96.8	239	108.7	148	131.5	207	105.1	249	114.8	220	105.8
ブロッコリー	市場計	609	101.4	500	120.8	717	109.9	400	92.8	823	110.0	422	121.0	1,540	109.9	411	106.4
サラダ菜	市場計	41	103.1	641	227.3	40	92.2	505	173.5	43	119.2	378	153.9	83	104.5	439	162.4
	千葉	17	106.7	604	233.7	17	97.1	450	170.1	21	129.4	321	148.0	37	112.7	378	156.7
パセリ	市場計	26	97.9	976	106.3	24	89.6	1,278	99.0	24	100.9	1,749	138.9	47	94.9	1,512	118.5
	千葉	16	117.9	870	96.7	17	105.9	1,149	93.7	16	96.4	1,617	136.7	33	101.0	1,379	114.6
チンゲンサイ	市場計	143	88.2	342	141.9	132	85.1	269	125.2	159	112.2	239	119.6	291	98.0	253	121.6
エンダイブ	市場計	7	77.9	1,172	226.0	8	83.5	860	210.4	9	113.9	496	139.2	17	97.5	665	172.7
ミニトマト	市場計	684	103.5	696	128.0	654	88.9	594	107.6	640	94.2	580	111.1	1,293	91.4	587	109.2
	千葉	52	89.3	752	130.0	65	112.2	584	96.9	60	89.2	590	112.1	125	99.8	587	104.5
とうもろこし	市場計	41	77.2	528	91.9	57	87.8	527	97.2	210	132.2	433	90.8	267	119.3	453	91.4
いんげん	市場計	87	71.8	1,208	140.6	106	92.1	910	102.8	121	101.7	825	96.6	227	97.0	865	99.5
そらまめ	市場計	190	59.5	684	143.3	234	60.4	578	126.3	392	101.2	434	111.8	626	80.8	488	115.3
えだまめ	市場計	26	86.0	1,318	110.9	36	84.8	1,523	114.5	62	109.0	1,481	111.2	98	98.7	1,497	112.4
やまといも	市場計	41	67.0	644	99.2	44	68.1	673	104.8	49	99.2	662	105.4	93	81.6	667	104.9
	千葉	23	58.1	637	102.2	29	66.9	663	107.4	28	93.4	642	106.7	58	77.8	653	106.9
根しようが	市場計	128	87.7	705	103.1	148	98.6	698	100.4	154	104.2	768	106.7	302	101.4	733	103.7
マッシュルーム	市場計	44	115.2	881	103.0	37	93.9	909	108.2	41	120.3	887	106.2	78	106.1	897	107.1
外国産	—	1,730	97.0	240	94.5	1,268	77.9	253	99.2	1,512	106.7	241	95.3	2,780	91.3	246	97.0
果実総量	—	9,185	89.1	433	106.8	7,757	82.7	460	111.8	9,457	103.4	429	108.7	17,214	92.9	443	109.9
みかん類	市場計	12	97.3	1,576	112.7	14	67.3	1,942	113.9	35	81.5	1,779	116.8	49	76.9	1,826	115.4
(ハウスみかん)	市場計	8	114.5	2,215	95.3	13	77.6	2,027	101.0	35	86.6	1,791	111.3	48	83.9	1,856	107.4
かんきつ類	市場計	3,300	90.0	289	109.6	1,942	78.2	288	105.8	2,345	103.5	281	107.4	4,286	90.2	284	106.4
りんご類	市場計	1,759	90.3	351	109.3	1,097	72.7	392	116.1	1,393	98.5	413	116.6	2,489	85.2	403	116.8
(ふじ)	市場計	1,428	91.1	352	110.0	854	71.1	397	117.7	1,093	98.6	426	119.4	1,947	84.3	414	119.2
いちご類	市場計	1,118	88.7	1,008	104.0	970	98.8	903	99.4	884	111.3	755	94.8	1,853	104.4	832	97.0
(とちおとめ)	市場計	619	89.6	959	103.0	595	105.4	856	100.0	604	122.8	695	94.4	1,199	113.5	775	96.8
(あまおう)	市場計	164	85.8	995	101.3	103	80.4	879	94.6	41	62.7	783	96.7	144	74.4	852	95.8
メロン類	市場計	459	83.3	766	115.1	684	72.4	713	126.8	1,011	95.1	610	120.0	1,695	84.4	652	122.1
	千葉	6	88.1	1,133	99.0	5	52.2	1,114	152.0	19	94.2	622	123.5	24	80.1	730	125.7
(アールスメロン)	市場計	96	97.6	1,259	105.0	90	84.5	1,328	121.3	104	101.4	1,137	122.2	195	92.8	1,226	120.9
	千葉	6	87.4	1,138	99.4	4	74.5	1,199	131.0	6	92.5	1,002	130.7	11	84.2	1,082	129.6
すいか類	市場計	1,067	81.7	293	108.0	1,484	89.8	305	114.4	2,149	108.9	300	113.4	3,633	100.2	302	113.8
	千葉	0	1.0	308	73.9	27	71.7	434	121.6	188	97.9	340	118.7	215	93.6	352	118.1
(大玉すいか)	市場計	923	83.0	264	107.8	1,222	87.2	272	111.3	1,822	115.5	278	115.5	3,045	102.2	276	113.7
	千葉	0	—	308	—	3	35.2	307	138.5	135	104.7	306	122.8	138	100.9	306	123.6
(こだますいか)	市場計	144	74.3	475	113.2	262	104.6	454	117.5	326	82.6	425	117.6	588	91.1	438	118.0
	千葉	—	—	—	—	24	80.6	448	114.8	52	83.8	427	117.7	77	82.8	434	116.7
びわ	市場計	25	69.2	2,233	112.5	25	63.9	2,081	122.1	45	74.9	1,763	121.3	70	70.6	1,877	120.9
	千葉	3	732.1	2,921	100.4	5	248.9	2,461	88.3	7	120.3	2,289	99.9	12	212.7	2,364	103.2
外国産	—	1,770	94.4	252	112.3	1,717	81.7	257	115.2	1,934	105.5	267	113.1	3,651	92.8	262	114.5

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 —は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 6月の見通し

野菜

関東産に加え、長野県等の高原物、東北・北海道からの入荷が増加します。
現在の乾燥等の影響による生育遅れからは、今後の雨により回復し、入荷量は多くの品目で前年及び平年並となる見込みです。
価格は前月の高値基調の影響が強く残り、多くの品目で前年及び平年を上回る見込みです。

果実

「すいか類」「メロン類」を中心に、「びわ」「りんご類」「デラウェア」など多くの品目が出回ります。
この時期の中心となる「メロン類」「すいか類」は、関東産の出荷が本格化します。前半は4月中旬の低温と日照不足により、小玉傾向や果形の乱れ等が懸念されますが、徐々に回復する見込みで、入荷量は前年をやや下回り、平年並となる見込みです。
価格は、前月の高値基調の影響が続くものの、出荷量が潤沢となるに従い落ち着き、全体では前年並及び平年並となる見込みです。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	⇒	⇒	⇒	主産地の青森県は干ばつによる生育遅れから回復。入荷量は前年並及び平年並の見込み。
にんじん	⇒	⇒	↗↗	↗↗	主産地の千葉県は干ばつによりやや不作傾向だが、今後の雨で回復の見込み。
キャベツ類	↗	⇒	↗↗	↑↑	出荷の中心となる関東産地は雨が少なく生育が遅れているが、今後の降雨で回復の見込み。
ねぎ	⇒	↘	↗	↗↗	主産地の茨城県・千葉県が乾燥で生育遅れ。生育が前進した春ねぎとの端境もあり、少なかった前年並。
トマト	⇒	↗	↗↗	↘	各産地生育は順調。入荷量は多かった前年並の見込み。
大玉すいか	↘	↗	⇒	↗	千葉県では6月上旬までやや果形の乱れが懸念されるが、その後は順調な見込み。熊本県は概ね順調。
メロン類	↘	⇒	↗	⇒	主産地の茨城県・千葉県とも、6月上旬までやや小玉傾向だが、後半は回復の見込み。
びわ	↓↓↓	↓↓↓	↑↑	↑↑	主産地の長崎県は平年を大幅に下回る見込み。千葉県は目立った病害虫もなく、生育順調。

増加

減少

凡例

⇒ 平年並: ±2%

↗, ↘ やや高, やや低: ±3~5%

↗↗, ↘↘ かなり高, かなり低: ±6~15%

↑↑, ↓↓ 大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 品目別生産出荷概況

大玉すいか

主要産地の大玉すいかの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	26年6月入荷量	26年6月シェア率
千葉	3,611 t	49.0 %
熊本	2,065 t	28.0 %
鳥取	788 t	10.7 %
山形	0 t	0.0 %

今後の競合産地の動向は?

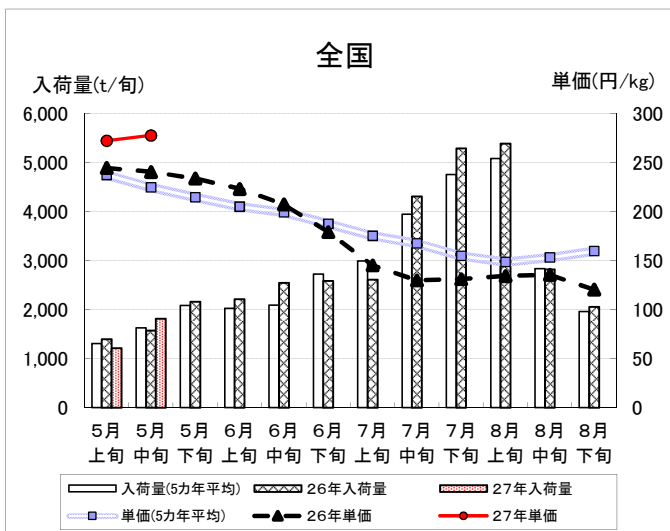
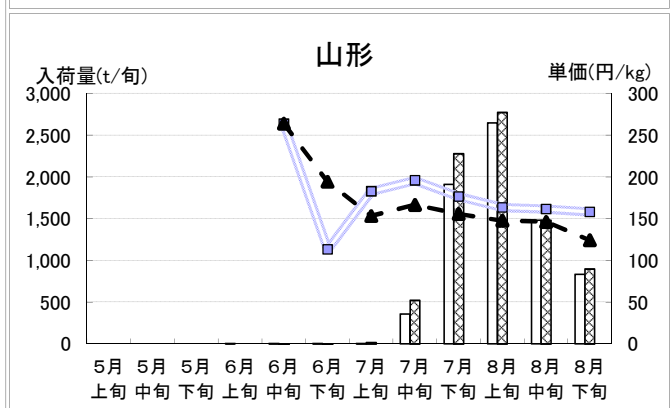
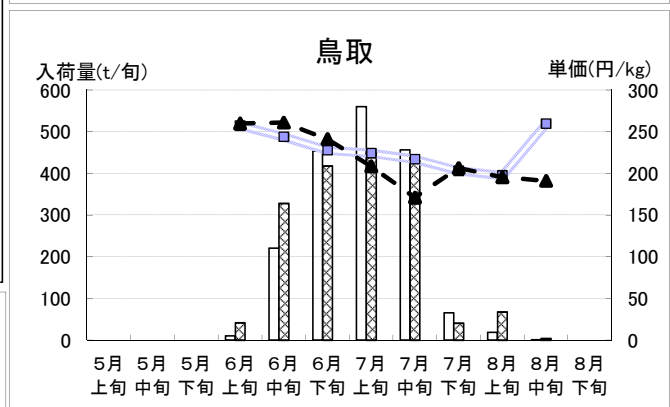
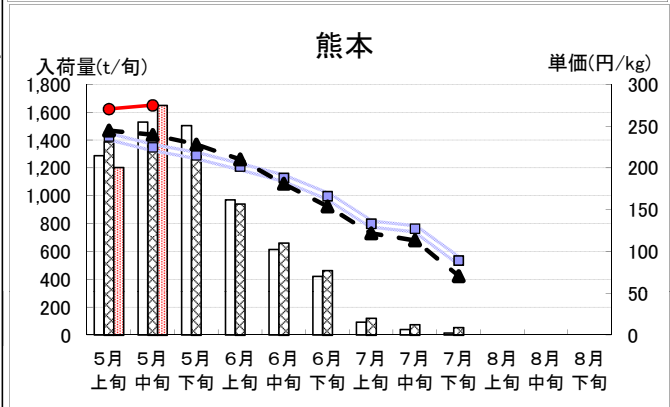
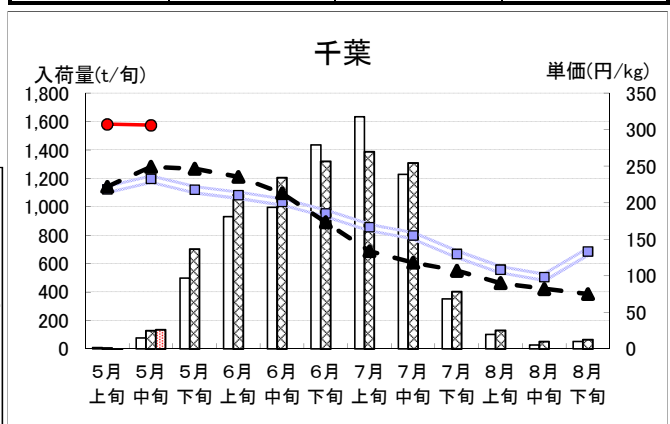
大玉すいかの東京都中央卸売市場への入荷は主に4月から8月で、千葉県産の年間入荷量は、熊本に次いで、全国第2位です。

産地リレーは、5月上旬から下旬に入荷ピークを迎える熊本、6月下旬から7月中旬までがピークとなる千葉、7月下旬から入荷量の増加する山形の順で行われます。また、6月中旬から入荷する鳥取が千葉の競合産地となります。

千葉産はハウス物が5月上旬から、露地物が6月上旬から出回り、6月中旬からピークとなる見込みです。

本年は、交配時期にあたる4月中旬の全国的な低温と日照不足の影響から、やや着果が悪く、果形の乱れがみられましたが、その後は各県とも好天に恵まれ肥大は順調です。また、価格面では、5月の首都圏の気温が平年よりも高く、夏物商材であるすいかの引き合いが強まったことから、平年よりも大幅に高い価格となっていました。今後はまとまった入荷量が見込まれることから、前年並の価格に落ち着く見込みです。

6月入荷予測	7,100t(前年比96.4%、平年比103.7%)		
6月価格予測	205円(前年比101.3%、平年比104.3%)		
6月市況予測	(上旬) 弱保合 ↘	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 弱保合 ↘



II 花き情報

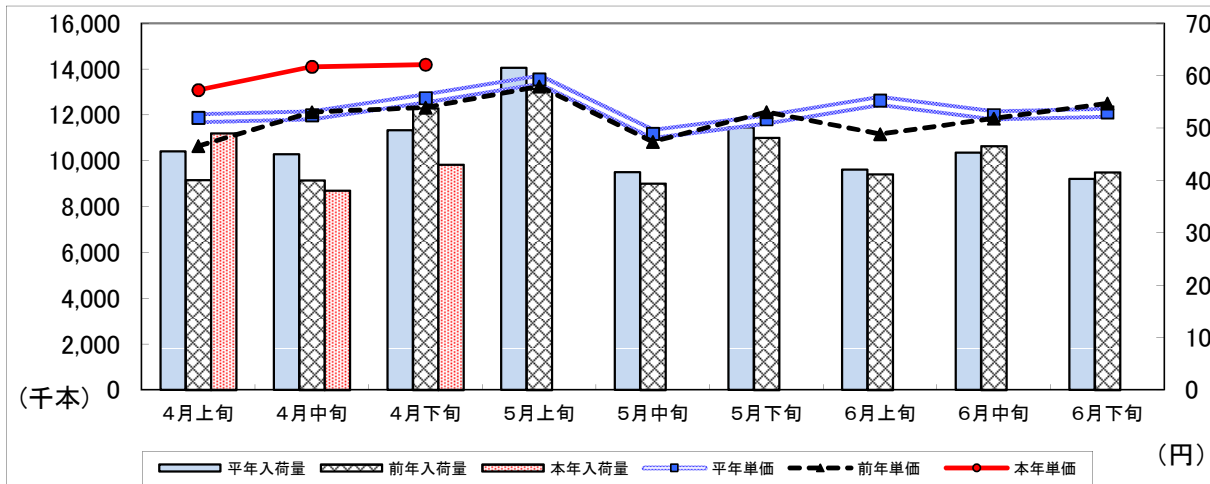
1 5月の経過（切花）

切り花全体では堅調な相場で推移したが、母の日に向けたカーネーションの取引は、輸入量が増加したことから単価は平年並に留まった。

（1）販売経過（東京都中央卸売市場大田市場）

項目	経過
入荷量	気温の上昇により生育・開花が進み、入荷量は平年を上回った。
相場	前月に引き続き、堅調な相場展開となった。
品目等	トルコギキョウなど一部の品目では天候不順により入荷量が少なく、高値での取引となった。一方、母の日に向けたカーネーションの取引は、輸入の増加により入荷数量が多く、単価は平年並に留まった。

（2）入荷量と単価の経過〔株大田花き（切花）〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成
平年値は過去3カ年の平均

（3）品目別経過

品目	経過	
カーネーション	大田花き	母の日に向けては、赤系のSTでは引き合いが強く受給が逼迫したが、それ以外に関しては低調な取引となった。母の日以降は大きな需要が無く厳しい販売となった。
	世田谷花き	母の日の取引は輸入品が増加し、価格は伸び悩んだ。
トルコギキョウ	大田花き	天候不順の影響で生育が遅れて品薄傾向であったため、堅調な相場展開となった。
	フラワーポート	天候不順の影響から入荷量が少なく、母の日は高値相場となった。

2 6月の見通し

品目	見通し	
ヒマワリ	大田花き	各産地から安定した入荷が見込まれる中、父の日のアイテムや季節商材として堅調な取引が予想される。
	フラワーポート	気温が高く生育が前進気味となる中、潤沢な入荷が予想される。
トルコギキョウ	大田花き	各産地からの出荷が増え、少なかった入荷量も平年並に回復する。相場については、やや軟調な展開が見込まれる。
	東日本板橋	高冷地産が増えてくる中、暖地からもまとまった入荷が見込まれ、厳しい販売が予想される。

Ⅲ や っ ら ゃ ば 閑 話

「市場に来て感じたこと」

市場に赴任して約2カ月が経つ。何かと新鮮だ。

まず、市場は熱い。フォークリフトが行きかい、小走りに人が動く。口早に情報交換がされ、威勢のよいセリの掛け声が聞こえる。全国各地からたくさんの商品が届くが、物は様々。その中からいかにいい物を見つけるか！？至る所で情報交換が行われている。その様子は真剣そのもの。短時間で情報収集し、すぐ別の物を探す。そして、良い物はすぐに高値で取引されていく。逆に悪い物は…。何日間か放置されているものをみると寂しくなる。

次に、品質チェックの厳しさ。市場に届くものは生産者が心をこめて作った物ばかりのはずだ。しかし、産地、品目、天気により刻々と変わっていく青果物は「不確実性」の塊だ。せっかく買って頂いたものが、期待したとおりに美味しくなかったり、傷んでいたりしたら大変だ。卸、仲卸、小売とそれぞれの段階で厳しくチェックされる。輸入物はもちろんのこと、国産であっても品質確認が行われる。怪しいものは、箱を開けられるし、厳しいところはパックまでひとつひとつ確認する。みんな自分のお客さんにいいもの、確かなものを届けようと必死なのが伝わる。

そして、安定した数量の重要性。小売に売込むには2週間前が常識らしい。商品を並べる棚、広告を準備するには時間が必要。数量がわからなければ販売準備ができない。売場が空きすぎても、不足しても、それは小売のリスク。相対取引が主流の今、数量の安定性はとても重要な要素だ。

普及にいたとき、市場は安く物を買って高く売りたいんだろう、なんてことを根拠なく思っていた。しかし、それはないな、と市場に来て思う。市場はただ単純に「商品の評価」をしているだけだ。ほんとにいい商品はいいお客さんに（結構いい値で）届けられる。どんなお客さんに届けるべき商品なのか、いい物は高級店へ、悪いもの・品質の安定しないものは薄利多売へ。最適な場所に振り分けられているだけなんだと思う。

しっかりした値で販売するには、買い手が求めている品質、数量をしっかりと考えること、情報交換をすることが必要。そんな当たり前なことに改めて気づいた2ヶ月だった。

(ぶわなしゃんば)

IV 首都圏掲示板



実需者に向けて千葉の一押し品目を売り込みました！

5月26日、大田市場、事務棟2階ホールにて東京青果（株）主催による「第19回 旬の食材提案会」が開催されました。

これは近年、業務向け食材のニーズが高まる中、加工品等の新たな商材を実需者に提案する機会として行われたものです。当日は、全国の産地が農産物や加工品等、旬の食材を売り込む中、多くの取引業者で会場が賑わいました。千葉県からは、あじさいねぎとタカミメロンの加工品を売り込み、多くの来場者から好評価を受けました。



各ブースで、担当者の熱心な説明に多くの来場者が聞き入っていました。



旬の国産フルーツのスムージーやカットフルーツで手軽な栄養補給を提案。



岡山県知事がマスカット・オブ・アレキサンドリアをPR

5月25日、大田市場果実売場にて、岡山県の伊原木（いばらぎ）知事によるぶどうのトップセールスが開催されました。知事挨拶では、「岡山のみじめな農家が丹精込めて育てたおいしいぶどうをたくさん売っていただきたいと願っております。」とPRしました。

この日が初出荷となるマスカット・オブ・アレキサンドリアの試食には多くの買参人が集まり、豊かな香りあふれる味わいに高い評価の声があちこちから聞こえました。PRに続いて行われたセリでは、最高で1房3万円の高値が付きました。



所狭しと展示された高級ぶどう



農家の思いを伝える伊原木知事



小売業者との関係強化で、ヒマワリの販売促進を！



J A安房西岬共撰部会ひまわり部会では、取引先との関係強化を目的に、小売業者を対象とした「産地見学会」を5月19日（火）に開催しました。

当日は都内の花き小売店の7名が参加し、出荷作業やほ場を見学しながら、生産者との情報交換・交流を深めました。

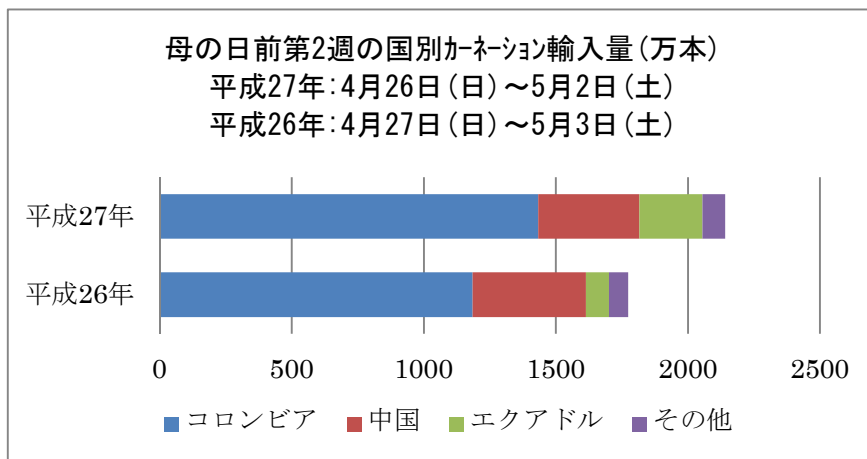
今後、父の日の需要日に向けて、今回の参加店を含めた23店舗で「ひまわりフェア」を行う予定です。



今年の母の日の状況は？

本年の母の日の取引は、天候不順による生育遅れから「入荷減の単価高」となる品目がある一方で、主役であるカーネーションについては昨年よりも入荷量が増加し、単価が伸び悩みました。この原因の1つに、国内産の生育遅れによる品不足が予想された中で、それを補うために輸入が増加したことがあげられます。

市場関係者からは「母の日だからといって、以前のように大きな高値は出ない。長期的な契約販売で安定した収益を考えることも必要」との声も聞かれました。



植物検疫統計より